

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	鳥獣関係対策事業						担当部	市民産業部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	農政課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	農業振興係							
	総合計画 分野別計画	主目的	6 産業振興		28 農業		2 農地の保全に努める									
		副目的														
	予算区分	款	6		項	1		目	3		大	5		中	1	
	根拠法令・個別計画	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律														
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	16 %			委託	67 %			助成	17 %					
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	鳥獣等による生活環境、農業の生態系に係る被害を防止する。														
	内容 (手段)	<p>○23年度実施内容 市民へ捕獲箱貸し出しにより、ヌートリア・アライグマ等の処理を実施した。ハチは業者を紹介する。(スズメバチ通常2万円が1万円の補助、ミツバチ通常1万円が5千円の補助、足長バチ8千円で補助無し)※但し、高さ等困難な場所での処理は、加算額が発生する。ヌートリア等の捕獲は無料(職員が捕獲箱を設置し、捕獲後回収する。)カラスの捕獲については、業者委託した。シルバー人材センターに委託してジャンボタニシの駆除を実施した。</p> <p>【直接経費の内訳】 ハチの処理謝礼(1,133千円) 普通旅費(4千円) 消耗品費(32千円) 有害鳥獣駆除委託料(2,944千円) 小牧市猟友会 1,334,550円(カラスの他、イノシシ、ヌートリア等を含む) 中部環境サービス(株)委託分 1,501,500円 移入種駆除委託料(1,544千円)12月補正 ※ジャンボタニシ駆除</p> <p>○24年度実施内容 23年度と同様に実施する。</p>														
受益者負担	無															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	4,574	4,427	5,657	5,713	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,063	1,063	1,063	1,063
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	5,637	5,490	6,720	6,776	
	対前年比	%		97.3	122.4	100.8		
財源	一般財源	千円	5,637	5,490	6,720	6,776		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	ハチの処理補助件数	件	目標		—	—	—
実績				136	87	95	
ヌートリア・アライグマの捕獲	匹	目標		—	—	—	—
		実績		40	17	26	
カラスの捕獲機設置件数	件	目標		—	—	—	—
		実績		2	2	2	
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	カラスの捕獲数	羽	目標		700	700	700
実績				859	671	808	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	市民生活及び農作物への被害防止するため、ヌートリア等の捕獲駆除を実施し一定の効果をあげることができた。
		事業実施における課題等	ヌートリア等の捕獲について、現在、捕獲檻の貸出、回収のすべての作業を農政課職員で行い相当の時間を費やしている。 ハチ駆除については、補助制度を廃止する自治体も出てきていることから、今後の事業のあり方を見直す必要がある。
		事業を縮小・廃止したときの影響	事業を縮小・廃止すると、カラス・ヌートリアなどによる農作物への被害が拡大し市民生活に影響を及ぼす。
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持	
	判定理由	カラス等の捕獲については、民間委託により、市民生活及び農作物への被害防止を適切に実施できているため。	
	改善案等	仕事の効率化によりヌートリア等の害獣駆除について、捕獲檻の設置、回収、害獣の駆除・処理の一連の作業を専門業者に委託するよう準備する。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。ただし、ジャンボタニシへの新たな対応策も検討すること。